

ICTサポーターの活用事例

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小5	社会	農業・食料生産（技術）「米づくり」	プレゼンテーションソフト
授業内容	米づくりのくふうと努力について調べ、分かったことを伝え合う		
準備：	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート用ファイルを準備する。・ワークシート用ファイルを班の数分コピーして共同編集できる場所に保存する。		
授業の流れ：	<ol style="list-style-type: none">1. 米づくりの1年間について学習したことをふりかえる。2. 班のワークシートファイルを開き、話し合いながらスライド1枚目の農作業ごよみを作る。3. スライド2～5枚目の4つの項目（水田の形・作業時間・農薬や肥料・生産量や消費量）を班の中で分担し、各自教科書や資料集から情報を集め、昔と今の違いを書き出す。4. 調べたこと気づいたことについて班で伝え合い、スライド6枚目「よりよい米を作るための地域の協力、人々のくふうや努力について分かったことを伝えあいましょう」に書き出す。5. 班で出た意見を、代表者が全体に発表する。6. 活動を通して気づいたこと、もっと知りたいこと、新たに持った疑問を伝え合う。		
サポーターおすすめポイント	<ul style="list-style-type: none">・ 農作業ごよみはパーツを動かすことで簡単に作成でき、時期に着目しながら1年間の流れをとらえることができます。・ 班で分担して調べたことを即時共有し、伝え合い、話し合いの時間を確保できます。		
	<div>農作業ごよみ</div> <div>3月4月5月6月7月8月9月10月</div> <div>種が出る 水の管理 田植え たい肥をまく もみすり 稲刈り かんそう 生育調査 田おこし</div> <div>入力例</div> <div>米づくりは、昔と今でどうかわったでしょうか</div> <div>作業時間</div> <div>昔 ・手作業で田植えをしていたので、170時間ぐらいかかっていた。</div> <div>今 ・機械でするようになってから作業時間がとても短くなった。だいたい昔の五分の一くらいでできるようになった。</div> <div>よりよい米を作るための地域の協力、人々のくふうや努力について分かったことを伝えあいましょう</div> <div>・機械の値段が高く、大型のため保管する場所も必要になります。そこで、地域の人たちはお金を出し合って買ったり、保管したりしています。米づくりは、地域の人たちの共同作業によって支えられています。</div>		